

様式 2

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 9 月 3 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒 060-8588	
	札幌市中央区北3条西6丁目	
	氏 名	北海道
	(代表者名)	北海道知事 鈴木 直道

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項
第 2 3 条第 3 項の規定により、環境保全行動
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日									
事業 の 規 模	従業員数	4,501		人	原油換算した		7017.5		kl		
	使用床面積	268,326		m ²	燃料・熱・電気の合計量						
	事業所数	29	事業所	自動車使用台数		140		台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC				
		15700 t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		
		非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃				
		t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		
報告書の担当部署		担当部署名									
		担当者氏名									
		電話/FAX									
		電子メールアドレス									
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項			
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 2 項			
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日									
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり									
備 考											

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【報告期間】

2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標 削減 率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果
事務・事業に伴う二酸化炭素排出量の削減	21300 t-CO2	19 %	14900 t-CO2	30 %	○	15500 t-CO2	27 %	○			
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	324 t-CO2	1 %	206 t-CO2	36 %	○	216 t-CO2	33 %	○			
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
事務・事業に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	庁舎等の照明のLED化等により電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量が減少したことが影響したと考えられる。
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	公用車の次世代自動車化の推進により計画通りに削減できたと推測される。 (令和5年度実績：次世代自動車導入率27.4%(乗用車))